

平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（宮城県分）について

1 調査概要

- (1) 調査期間 平成25年4月から7月末まで
- (2) 対象学年 全国の小5男女、中2男女全員（悉皆調査）

表1

	小学校5年生 男・女		中学校2年生 男・女	
	学校数(校)	調査児童数(人)	学校数(校)	調査生徒数(人)
宮城県	399	20,116	203	19,438
全国	20,848	1,087,902	10,500	1,039,921

※（調査方式）悉皆調査：平成20年度、平成21年度、平成25年度
 抽出調査：平成22年度、平成24年度
 （平成23年度は、大震災の発生により、調査は実施されていない）

(3) 調査事項及び内容

① 実技に関する調査…新体力テスト（8種目）

- 1) 握力 2) 上体起こし 3) 長座体前屈 4) 反復横とび 5) 持久走、20m シャトルラン
- 6) 50m 走 7) 立ち幅とび 8) ソフトボール投げ、ハンドボール投げ
- ※ 5)について、中2男女はどちらか1種目を選択して行い、小5男女は20m シャトルランを行う。
- ※ 8)について、小5男女はソフトボール投げ、中2男女はハンドボール投げを行う。

② 児童に対する質問紙調査

- 運動習慣、生活習慣等

③ 学校に対する質問紙調査

- 子どもの体力向上に係る学校の取組等

2 結果概要

【実技に関する調査】

- (1) 平成25年度宮城県の体力合計点について ※（ ）は前年度との差

表2

		体力合計点								
		H21	順位	H22	順位	H24	順位	H25	順位	
小学校5年生	男子	宮城県	53.82(+0.51)	30	53.46(△0.36)	35	52.92(△0.54)	41	53.11(+0.19)	36
		全国	54.19(+0.01)		54.36(+0.17)		54.07(△0.29)		53.87(△0.20)	
		全国との差	△0.37		△0.90		△1.15		△0.76	
5年生	女子	宮城県	54.58(+0.26)	25	54.30(△0.28)	28	54.24(△0.06)	32	54.10(△0.14)	32
		全国	54.59(△0.25)		54.89(+0.30)		54.85(△0.04)		54.70(△0.15)	
		全国との差	△0.01		△0.59		△0.61		△0.60	
中学校2年生	男子	宮城県	41.95(+0.26)	18	42.14(+0.19)	17	42.13(△0.01)	23	42.13(±0)	19
		全国	41.36(△0.14)		41.71(+0.35)		42.32(+0.61)		41.78(△0.54)	
		全国との差	+0.59		+0.43		△0.19		+0.35	
2年生	女子	宮城県	47.95(△0.36)	24	47.60(△0.35)	30	48.16(+0.56)	27	47.89(△0.27)	29
		全国	47.94(△0.44)		48.14(+0.20)		48.72(+0.58)		48.42(△0.30)	
		全国との差	+0.01		△0.54		△0.56		△0.53	
調査の方式		悉皆		抽出 (小5:18.7%, 中2:18.5%)		抽出 (小5:18.8%, 中2:18.4%)		悉皆		

※順位については、本県教委独自の集計によるもの

- ① 小5男子では、全国平均値は下回っているものの、前年度の数値を上回り、震災前のH22年度の数値に近づいている。
- ② 小5女子では、前年度の数値、全国平均値とともに下回り、若干低下傾向が続いている。
- ③ 中2男子では、前年度の数値と同じであったが、全国平均値を上回った。
- ④ 中2女子では、前年度の数値、全国平均値とともに下回ったものの、震災前のH22年度の数値を上回った。

(2) 各種目の記録

【小学校5年生】

表3

調査種目	男 子				女 子			
	宮城県	全 国	全国との差	順位	宮城県	全 国	全国との差	順位
握力(kg)	16.55	16.63	△ 0.08	31	16.39	16.14	+ 0.25	14
上体起こし(回)	19.39	19.54	△ 0.15	24	18.02	18.06	△ 0.04	24
長座体前屈(cm)	32.83	32.73	+ 0.10	14	36.86	36.87	△ 0.01	15
反復横とび(点)	41.65	41.41	+ 0.24	27	39.33	39.06	+ 0.27	27
20m シャトルラン(回)	48.84	51.41	△ 2.57	38	37.32	39.66	△ 2.34	38
50m 走(秒)	9.54	9.38	△ 0.16	42	9.76	9.64	△ 0.12	44
立ち幅とび(cm)	147.91	152.07	△ 4.16	47	140.80	144.55	△ 3.75	47
ソフトボール投げ(m)	23.56	23.19	+ 0.37	25	13.75	13.94	△ 0.19	39
体力合計点	53.11	53.87	△ 0.76	36	54.10	54.70	△ 0.60	32

① 小5男子では、全国平均値を上回った種目は長座体前屈やソフトボール投げ等で、下回った種目は立ち幅とびや50m走等であった。

② 小5女子では、全国平均値を上回った種目は握力や反復横とびで、下回った種目は立ち幅とびや50m走等であった。

【中学校2年生】

表4

調査種目	男 子				女 子			
	宮城県	全 国	全国との差	順位	宮城県	全 国	全国との差	順位
握力(kg)	29.48	29.21	+ 0.27	22	23.58	23.76	△ 0.18	33
上体起こし(回)	27.85	27.58	+ 0.27	13	23.55	23.03	+ 0.52	10
長座体前屈(cm)	43.56	43.11	+ 0.45	16	45.04	45.12	△ 0.08	22
反復横とび(点)	51.48	51.08	+ 0.40	26	45.31	45.27	+ 0.04	28
持久走(秒)	403.94	393.90	△ 10.04	36	297.95	292.71	△ 5.24	29
20m シャトルラン(回)	82.89	84.98	△ 2.09	39	54.81	57.20	△ 2.39	40
50m 走(秒)	8.02	8.04	+ 0.02	22	8.91	8.88	△ 0.03	31
立ち幅とび(cm)	192.83	193.68	△ 0.85	32	162.98	166.18	△ 3.20	40
ハンドボール投げ(m)	20.59	21.01	△ 0.42	39	12.37	12.97	△ 0.60	44
体力合計点	42.13	41.78	+ 0.35	19	47.89	48.42	△ 0.53	29

① 中2男子では、全国平均値を上回った種目は上体起こしや長座体前屈等で、下回った種目は20mシャトルランやハンドボール投げ等であった。

② 中2女子では、全国平均値を上回った種目は上体起こしや長座体前屈等で、下回った種目はハンドボール投げや20mシャトルラン等であった。

【児童生徒質問紙調査】

(1) 運動やスポーツの実施頻度について ※ () は前年度との差

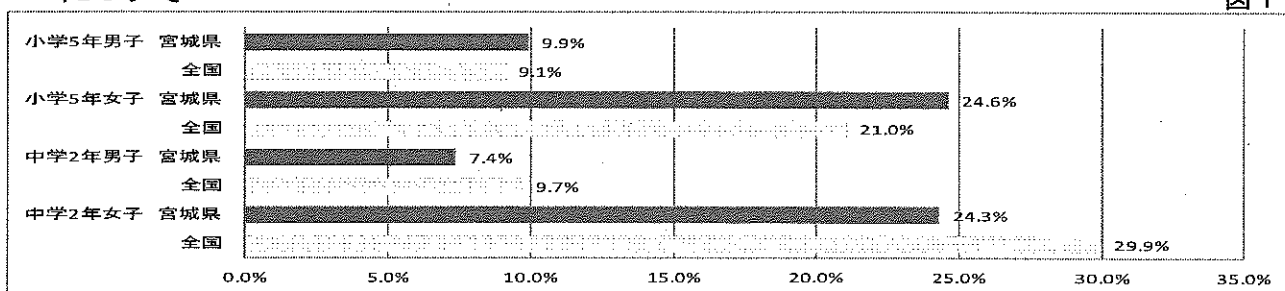
表5

質問項目	性別	小学校5年生 (%)			中学校2年生 (%)		
		H22	H24	H25	H22	H24	H25
「ほとんど毎日(週に3日以上)している」	男子	60.6(-1.0)	60.0(-0.8)	59.6(+0.4)	88.1(+4.1)	88.3(+3.8)	86.9(+3.1)
	女子	30.9(-4.9)	33.6(-1.9)	30.1(-3.4)	68.7(+7.5)	66.7(+6.1)	68.3(+8.4)

・ほとんど毎日運動している児童生徒の割合は、小5女子を除いて、全国平均値を上回っている。

(2) 1週間の総運動時間が60分に満たない児童生徒（体育・保健体育科の授業を除く）について

図1

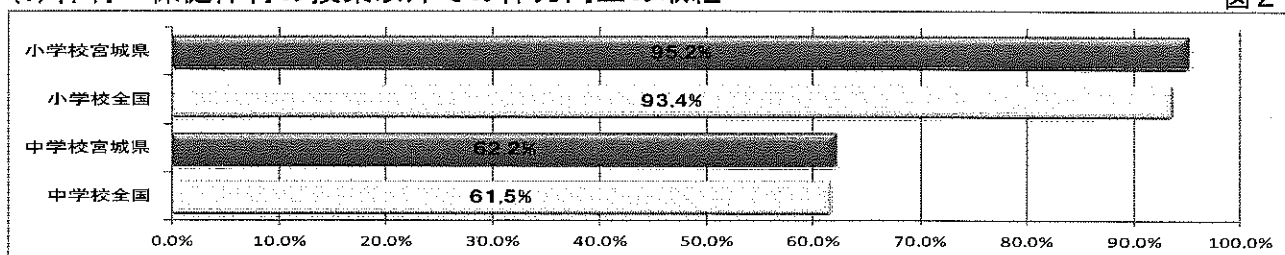


- ① 小5男女では、1週間の総運動時間が60分に満たない児童の割合が全国より多い。
- ② 中2男女では、1週間の総運動時間が60分に満たない生徒の割合が全国より少ない。

【学校質問紙調査】

(1) 体育・保健体育の授業以外での体力向上の取組

図2



- ① 小・中学校とも体育の授業以外で体力向上へ取り組む割合が全国よりも本県の方が高い。
- ② 本県、全国ともに、中学校より小学校の方が体育の授業以外での体力向上への取組が高い割合で行われている。

3 体力・運動能力向上に関する取組

(1) 県教育委員会・市町村教育委員会教育懇話会での研究協議

3圏域毎(県北・県央・県南)と全体会の計4回の会議の中で、全市町村教育委員会と子どもの体力・運動能力に関して情報の共有化を図るとともに、その向上策について研究協議を行った。

(2) 「体力・運動能力向上に関する講習会」の開催

子どもの体力・運動能力の向上施策や、運動実技等について県内小学校体育主任等の教員を対象として講習会を開催した。併せて、開催の時期を今年度から各学校での体力調査実施前の年度当初に変更した。

(3) 「宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査報告書(県教委作成)」の内容の充実

文部科学省の調査とは別に、全校種・全学年児童生徒悉皆で本県独自に調査を実施し、種目及び教育事務所毎の経年変化グラフ等により、現状の把握・分析に努めている。

(4) 「小・中・高等学校体力・運動能力調査報告書(各学校作成)」様式の変更・改善

(3)の調査に併せて、これまでの報告様式を、各学校が現状把握、課題抽出、目標設定、今後の対策を記載する様式に変更し、各学校での具体的な取り組みを促した。

(5) 「体力・運動能力向上出前研修会」の実施

教育事務所ごとに、管内小学校において、特に体育の指導に優れた教員2名を指導教員として指定し、希望学校に出向き、運動事例を紹介するとともに、「みやぎっ子！元気アップエクササイズ」等の指導をとおして体力向上を図る研修会を開催した。

(6) 「元気アップみやぎっ子！『web』長なわ八の字跳び大会」の実施予定

子どもたちの運動機会の創出や運動の習慣付けができるよう、被災地等の運動制限のある場所でも手軽にできる「長なわ八の字跳び(予定)」を各学校で行い、インターネット上で記録を競う大会を実施する。